

2025年2月5日

第17回 国際スマートグリッド展に初出展

エナジーウィズ株式会社(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:吉田誠人)は、2月19日(水)~21日(金)に東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催される「第17回 国際スマートグリッド展」に初出展します。

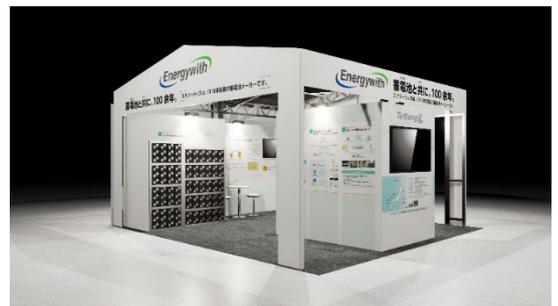
今回は、「蓄電池と共に、100余年。」をコンセプトに、1916年の創業以来、積み重ねてきた蓄電池の技術とノウハウをもとに、再生可能エネルギー向けに開発された再エネ用サイクル長寿命蓄電池「LL シリーズ」を中心に展示します。LL シリーズ以下の6つの特長があります。

- ① リチウムイオン電池など他の蓄電池と比べて運用における安全性が高く、設置にも自由度がある。
- ② 厳密な温度管理が不要なため、空調レスにでき、空調の初期投資および空調自体の電力使用量を抑えられる。
- ③ リサイクルが確立されており、リサイクルによる CO₂ 削減も期待できる。また、ライフサイクルでの CO₂ 排出量が少なく、環境にやさしい蓄電池である。
- ④ 平時は電気代削減と CO₂ 削減に貢献し、非常時には BCP 用途にも使えるマルチシステムである。
- ⑤ 希少資源を使っておらず、国産であるため調達安定性が見込める。
- ⑥ 長寿命・高サイクルなので、蓄電所/自家消費/再エネ発電所併設用途に使用できる(実績あり)。

今回の展示会では、上記①の安全性と設置の自由度について、蓄電池が「産業用テント」に設置できる実際の状況を再現し、LL シリーズの優位性を強調いたします。また、上記③については、この LL シリーズをはじめとする鉛蓄電池はほぼ100%リサイクルが可能で、導入から廃棄までを当社グループで対応し、ライフサイクル全体での CO₂ 排出量を抑えることができる環境に配慮した蓄電池あることを動画などで説明します。

さらに、ブースでは 2025 年度に上市予定のエナジーウィズ独自のエネルギーマネジメントシステム(EW-EMS)について、動画などで魅力と効果を紹介。また、ブースにおいていくつかの質問にお答えいただくことで、当社の蓄電システム導入による電力収益改善および CO₂削減効果について簡易的なシミュレーションを実演します。

今後もエナジーウィズは、革新的なエネルギーソリューションを提供し、お客様のニーズに応える努力を続けていきます。



ブース出展場所 E58-42

以上

エナジーウィズ株式会社は 2021 年 12 月、昭和電工マテリアルズ株式会社(現株式会社レゾナック)の蓄電デバイス・システム事業部門を前身に蓄電池専門メーカーとして事業を開始しました。

当社はこれまで 100 年以上にわたり鉛蓄電池技術を用いて自動車用バッテリー、産業用鉛蓄電池を製造・販売。また鉛蓄電池に限らず、蓄電池の状態を検知する監視装置、緊急時に蓄電池から電力を供給する電源システムなどもラインナップとして事業を展開。今後は蓄電池専門メーカーから「提案型蓄電ソリューション企業」への進化を目指しています。

<https://www.energy-with.com/>

リリースに関するお問合せ

エナジーウィズ株式会社

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町 3 AKS ビル pr@energy-with.com